

仲間の苦難を我が事として



ジャーナリスト 東海林 智

Google日本法人で大量解雇に対し労組結成したが...



Google Japan Union の結成会見 (3月2日、都内)

3月19日に開催された東京土建第76回定期大会の最後に、退任する千葉一郎常任中執が挨拶しました。千葉さんはその中で「これからの労働組合は理不尽なものに立ち向かわないと、本当にダメになる」と話しました。大

リストラでよく聞く「意見」

「高給取りは仕方ない」

「どうせ高給取りなんだろう。しょうがないんじゃないの」。

(3月2日)を開いた。会見に参加して会社に戻ると、速報ニュースを見ていた顔見知り

の記者が声をかけてきた。それが冒頭の言葉だ。

正直、「またか」と面倒に思ったが、あまりな物言いな

ので「じゃ、君が『不当』に解雇されたときも誰も助けて

くれないね」と返した。する

と彼は、「うち(の会社)は高給取りじゃない」と口をど

がらせた。彼に悪気はなかったとは思

うが、この手の物言いはリストラや解雇の争議では「世間

のは、理解できないこともな

い者でもその発表には首をかしげた。

従業員ならなおさらだろう。日本のグーグルではどう

なるのか、会社からくわしい説明はない。2月末になり、

日本の会社から全従業員にメールが届いた。中身は、退職

金積み増しなどを含んだ「退職パッケージ」を複数人に提案

するといふもの。どのよう

な規模(人数)で行なわれるのかの説明も、パッケージの

性格の説明もない。1月の発表以降、雇用不安を覚えた

従業員たちは、管理職ユニオ

ンに申し出て、退職金積み増しなどを含んだ「退職

パッケージ」を複数人に提案するといふもの。どのよう

な規模(人数)で行なわれるのかの説明も、パッケージの

性格の説明もない。1月の発表以降、雇用不安を覚えた

従業員たちは、管理職ユニオンに申し出て、退職金積み増し

などを含んだ「退職パッケージ」を複数人に提案するといふもの。どのよう

な規模(人数)で行なわれるのかの説明も、パッケージの

性格の説明もない。1月の発表以降、雇用不安を覚えた

従業員たちは、管理職ユニオンに申し出て、退職金積み増し

などを含んだ「退職パッケージ」を複数人に提案するといふもの。どのよう

な規模(人数)で行なわれるのかの説明も、パッケージの

性格の説明もない。1月の発表以降、雇用不安を覚えた

従業員たちは、管理職ユニオンに申し出て、退職金積み増し

手IT企業であるグーグルの突然の解雇発表に働く人たちが立ち上がっています。この動きを取材した機関紙「コンクル」の審査委員でもあるジャーナリスト、東海林智さんの記事を紹介します。(見出し、写真は編集部)

会社からは詳しい説明なく

「退職パッケージ」提案

ユニオンの会見やグーグルと労組の団体交渉などによると、発端は今年1月にグーグルが全世界で1万2000人の従業員を解雇すると発表したことだ。2022年に600億ドルの利益を上げ、1140億ドルの流動資産を持つという同社である。いつの間

にグーグルは経営危機になったのか。グーグルに関わりの

この争議は、まだ分からないことが多い。それは、退職勧奨にしろ、指名解雇にせよ、まったく労働者への説明が足りていないからだ。日本の労働法は乱暴な解雇を許していない。当然ながら、外資であっても守るべきルールがある。だからこそ、「高給取りだから」とルールが緩和され

世界的IT大手、グーグル日本法人と子会社に労働組合が結成された。組合員数は公表していないが、3月中には50人を超える見込みと、管理職ユニオンの神部紅書記長は話す。2月

「違法解雇許さない」
外国籍の従業員も参加して

「サインしないとハラスメントが」
会見したユニオンにはすでに50人以上が加入していると

「退職勧奨」だ」と説明したという。本人が判断と言いつつ、「退職に同じく」と問い詰めても、明確に「解雇しない」とは答えなかったという。

管理職ユニオンの神部紅書記長は「実質的な指名解雇と受け止めざるを得ない」と語る。実際、団交では、パッケージを示された労働者が「人事との面談で『退職』合意書にサインしないとハラスメントを受けることになる」と言われたと暴露したという。

「サインしないとハラスメントが」
会見したユニオンにはすでに50人以上が加入していると

「退職勧奨」だ」と説明したという。本人が判断と言いつつ、「退職に同じく」と問い詰めても、明確に「解雇しない」とは答えなかったという。

管理職ユニオンの神部紅書記長は「実質的な指名解雇と受け止めざるを得ない」と語る。実際、団交では、パッケージを示された労働者が「人事との面談で『退職』合意書にサインしないとハラスメントを受けることになる」と言われたと暴露したという。

「サインしないとハラスメントが」
会見したユニオンにはすでに50人以上が加入していると

「退職勧奨」だ」と説明したという。本人が判断と言いつつ、「退職に同じく」と問い詰めても、明確に「解雇しない」とは答えなかったという。

管理職ユニオンの神部紅書記長は「実質的な指名解雇と受け止めざるを得ない」と語る。実際、団交では、パッケージを示された労働者が「人事との面談で『退職』合意書にサインしないとハラスメントを受けることになる」と言われたと暴露したという。

神部書記長は「違法な解雇を許せば、他の企業にも悪影響を与える。労働組合の機能を使いあらゆる手段で対抗する」と語った。

JMITU(全労連加盟)でも同社のエンジニアラでつくる労組が2月末に結成されている。

に変えてはならない。今回、グーグルの組合員の事情も多様だ。外国籍で働いている者の多くは、高度人材のビザを得て働いているという。この

ビザは仕事を失えば、在留資格も失うシステムだ。日本にパートナーがいても、解雇でビザを失う可能性もある。

外資だから簡単にクビを切るのではと心配した日本人が、入社の際に会社にたずねると「グーグルに入社するには厳しい関門があり、間違っ

て入ることなんかはない。その人材を簡単にクビにすることなんてない」と言い切ったという。この社員は「今回の件で会社への信頼は失われた。

ならば、私たちが労働者の権利を行使してたたかおうと次々に仲間が集まった」と話す。

あらためて、労働者は地続きなのだ。誰かが権利を侵害されている時に、賃金や立場で「あれは仕方ない」と沈黙してしまえば、そのツケはやがて自分たちに回ってくる。こ

れは、低賃金の非正規労働者の状況を長らく放置してきたことで、正社員もくめ、日本の賃金が世界的に安い賃金になったことにもつながる。仲間の苦難は放っておけない。労働者は地続きなのだから。

「ツケはやがて自分たちに回る」
同じ労働者の権利を、賃金の多い少ないで「仕方ない」

「サインしないとハラスメントが」
会見したユニオンにはすでに50人以上が加入していると

Google Japan 本社が入る「渋谷ストリーム」

